

2020年度 後期 始業式

2020年8月27日（木）

今日は後期の始業式が行われました。武蔵野東小学校はほぼ、いつもの夏休み期間程度の夏休みを送ることができました。それは、前期の休校中に行った教材配布や動画配信、また、オンラインホームルームやオンライン授業を行ったことで、授業の遅れはほとんどなく、学習内容がほぼ達成できていたと判断したためです。それでも、いつもより少し短い夏休みとなりましたが、今日は皆、元気な笑顔で登校してきたことに、先生たちもひと安心しました。



始業式はライブ放送で行われました。石橋校長先生からは次のようなお話がありました。

- いつもと少し違う夏休みだった。
- 学校では様々な工事が行われた。
- 新型コロナウイルスの感染状況はあまり大きく変わっていない。引き続き、感染症にかからないように気をつけてほしい。
- 萩生田文部科学大臣から届いたお手紙の紹介
- この感染症は誰もがかかる可能性がある。感染した人が悪いわけではない。もし友達にこの感染症にかかった人が出たら、それを恐れたりするのではなく、早く治るように励ましたり、友達を心配し、思いやりをもつことが大切。それがひがしっ子の精神であり、態度ですね。
- 後期の行事について 自分たちでできることを考えていく など



夏休み期間中、西館3階の廊下の壁が新しくなったり（2階は昨年度施工済み）、コンピュータが新しくなったり、教室の照明がLEDに変わったり、新しいエアコンが設置されたり、西館音楽室に新しい電子黒板が入ったりなど、教育環境の整備が行われました。